被災地の子どもたちの健全育成に寄附

平成23年8月22日から販売された、全国初の試みである「東日本大震災復興応援切手」が、多くの市民の方や青森県、大阪府など全国の方にご購入いただき、昨年末完売しました。

市では、販売金額の一部である30万円（1シート300円×1000枚）を、青少年の健全育成支援事業をとおして被災者支援、被災地支援を行っている、財団法人茨城新聞文化福祉事業団に寄附しました。

片庭市長は「被災地の子どもたちの健全育成に役立てて欲しい」と小田部卓理事長に目録を手渡しました。

小田部理事長（右）に目録を手渡す片庭市長（左）

ワープステーション江戸 経営主体が変わります

江戸時代の武家屋敷など、多数のロケ施設がある「ワープステーション江戸」の経営主体が、茨城県開発公社から株式会社NHKエンタープライズに変更になりました。施設は、引き続き一般公開を続けますので、ぜひご来場ください。

確認書を交わす片庭市長（左）

教育長に石塚氏が就任

市教育委員会は、豊嶋隆一教育長の辞職に伴い、4月1日付けで、新たに石塚眞典氏（65歳）を教育長に選任しました。

任期は、前教育長の残任期間として、6月27日までの約3カ月です。

石塚氏は、県内の小中学校並びに茨城県県南教育事務所勤務を経て、平成19年3月谷和原中学校校長を最後に定年退職、その後谷和原幼稚園長を歴任されました。

市総合計画新基本計画を策定

市では、平成20年に「つくばみらい市総合計画」を策定し、まちづくりを推進してきました。この間、社会環境が大きく変化し、適切な対応が求められています。時代の変化に対応し、地域の特性を活かしたまちづくりを実効的・戦略的に推進するため、平成24年度から6年間のまちづくりの方向を定める「つくばみらい市総合計画新基本計画」を策定しました。

なお、詳しくは7月頃に概要版を配布し、お知らせします。

問 伊奈庁舎企画課 ☎58-2111（内線1221）

市職員人事異動（平成24年4月1日付）

今回の人事異動は、機構改革の5つのポイントである、政策調整部門の強化、簡素で効率的な組織の確立、市民の安心安全の確保、市民活動に対する支援強化、不法投棄の監視体制の強化に重きを置きました。※異動者多数のため、課長補佐級以上を掲載します。なお、（ ）内は、旧所属および前職です。

市長公室

■副市長＝潮田勝利（副市長兼市長公室長兼政策秘書課長事務取扱）◆市長公室長兼政策秘書課長＝石神栄（秘書広聴課長）●企画課長＝菊地龍夫（秘書広聴課長補佐）○政策秘書課長補佐＝中島毅（秘書広聴課長補佐）○同＝関正臣（水道課主査）○同＝鈴木富夫（企画政策課主査）○企画課長補佐＝梅本和成（企画政策課長補佐）

総務部

◆参事兼総務課長＝豊島利夫（人事課長）◆参事兼財政課長＝沖田照雄（総務課長）●安心安全課長＝木村明夫（都市計画課長）○総務課長補佐＝中村滋成（人事課長補佐）○税務課長補佐＝飯泉克彦（国保年金課主査）○税務課収納対策室長＝岩本善宏（税務課長補佐）○安心安全課長補佐兼放射能対策室長＝土信田栄（生活環境課長補佐兼放射能対策室長）

市民経済部

●産業経済課長＝中島強（農政課長）●市民サポート課長＝奈幡優（産業政策課長）○産業経済課長補佐＝直井和美（農政課長補佐）○市民サポート課長補佐＝秋田恵子（社会福祉課主査）○生活環境課長補佐＝豊嶋千恵子（都市計画課主査）

保健福祉部

◆保健福祉部長＝野本英夫（会計管理者参事兼会計課長）●社会福祉課長＝斉藤一（介護福祉課長）●こども福祉課長＝関俊明（総務課長補佐）●介護福祉課長＝中村将（児童福祉課長）○こども福祉課長補佐＝小菅美智子（児童福祉課長補佐）○健康増進課長補佐兼がん対策室長＝坂本伊津美（健康増進課主査）○伊奈第2保育所長＝名越孝子（伊奈第4保育所長）○伊奈第4保育所長＝青木裕子（伊奈第4保育所主任保育士）○谷和原第2保育所長＝小島美佐子（谷和原第2保育所主任保育士）

都市建設部

●都市計画課長＝中村渉（都市計画課長補佐）●上下水道課長＝松﨑昭徳（下水道課長）○都市計画課長補佐＝直井仁志（市